広聴特別委員会記録

令和7年1月27日

【開催日】 令和7年1月27日(月)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時2分～午後2時24分

【出席委員】

委員長	森山 喜久	副委員長	前田 浩司
委員	奥 良秀	委員	中島 好人
委員	藤岡 修美	委員	宮本 政志

【欠席委員】

委員	白井 健一郎		
----	--------	--	--

【事務局出席者】

事務局次長	中村 潤之介	参事	河口 修司
-------	--------	----	-------

【審査内容】

- 1 12月定例会議会カフェの開催について
 - (1)テーブル分け
 - (2)議会カフェマニュアル(前回分と同じ)
 - (3)アンケート用紙(前回と同じ)
 - (4)その他
- 2 団体に対する議会カフェの状況について
- 3 令和5年12月定例会、令和6年3月定例会の議会カフェの後日回答分の確認について
- 4 令和6年3月定例会議会のモニター意見の対応の確認について
- 5 令和6年9月定例会議会のモニター意見の対応について
- 6 その他

午前10時2分 開会

森山喜久委員長 ただいまから、広聴特別委員会を開会します。なお、白井議員におかれましては所用のため欠席となります。それでは付議事項1番12月定例会議会カフェの開催についてになります。まず、テーブル分

けにつきましては、次のページに示してあります。こちらのテーブル分けで進めさせていただきたいと思いますが、皆さん御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、議会カフェのテーブル分けはこのような形を取らせていただきます。次は、議会カフェのマニュアルになります。修正をお願いいたします。日時は、11月のときのまをを残してしまったので、2025年2月3日月曜日、14時からAスクエアで、19時から不二輸送機ホールになります。こちらの修正をお願いいたします。テーブル分けはA、B、C、D、E、Fの6グループまで分けております。あとは、準備では7テーブルをつくっておいたほうがいいのかと思います。前回で言えば、6ないし7テーブルという実績がありますので、テーブルは7テーブルをつくって、組み合わせは6グループで対応させていただけたらと思います。もし、7グループになれば、常任委員長に入ってもらえる形になると思います。これについては、前回、前々回も常任委員長に入らせていただきました。そのような対応の可能性があるということで御理解いただけたらと思います。設営運営マニュアルについて御意見はありますか。

宮本政志委員 意見交換開始前の注意事項がありますよね。2ページ目です。

ここで特に進行役のことです。何回説明してもできていない進行役がいます。前回の不二輸送機ホールかな。テーブルはどこか分からないけど。ある市民の方が憤慨されたり、進行がしっかりしてなくて市民の方が聞いていることと全然違うことを議員が答えても進行役はそのまま受け流したり、効率的な進行ができていないところもある。「マニュアルを見ておいてください」では、全然進歩がみられない。テーブル分けについては委員会議決を取って決まるので、委員長から進行役にしっかりと説明して、把握してもらったほうが良いと思う。来られた市民の方に不愉快な思いをさせるのが見受けられるので、徹底的に進行する人にその辺りを注意してやっていかないと、いつまでたっても進行できる議員に限られるので、その辺りはしっかりやってほしい。

森山喜久委員長 不二輸送機ホールでは、進行役のことで非常に怒って帰られた人がいるということを聞いています。その点も踏まえて、注意すべき事項があったことを含めて、進行役に話をします。それ以外のところで、皆さんのほうで気づきはありますか。（「ありません」と呼ぶ者あり）では、マニュアルは以上とさせていただきます。

中島好人委員 進めるときの注意事項がありますが、当日のところの次のページで午後2時20分からありますよね。意見交換開始とか。その中の注意事項の3番目です。参加者が話をするときは止めないけども、議員が長々としゃべったときは止めたりもしたんですよ。

森山喜久委員長 中島委員が言われたのは、7番目のところの「議員が延々と発言しないこと」ということで、議員の話を遮って参加者の意見を聞くというスタンスを取られたということだと思いますよね。

中島好人委員 これは、要するに議員としての心得でしょう。だけど、司会者として議員の発言を遮る権限はあると思う。参加者に対しては遮ってはいけないけど、司会者の権限として議員に対しては遮ることがあります。

森山喜久委員長 今、言いましたように、議員が長々と発言する場合があります。その辺は、先ほど宮本委員が言われたように、司会進行役に改めて話をしていきたいと思います。

宮本政志委員 中島委員が言われることは、大事なことです。3常任委員長は、テーブルから呼ばれていないときは前のテーブルにいるだけなので、広い会場なら呼びに行くのには時間がかかるかもしれないけど、会場もあまり広いわけじゃないから、3常任委員長も各テーブルを回りながら、その進行役とテーブルがどういうふうな流れになっとなるかっていうのを横で聞いたらいいよね。それで、どここの会場の何テーブルで進行役は何々議員で、こういう問題があるっていうのはメモをしてもらって、

改善にもつなげていくことを徹底的にしていきましょう。

奥良秀委員 私の場合は、回りながら回答を聞いて「うん」っていうところがあれば、口出しをさせてもらってましたんで、また今までどおりさせてもらいます。

森山喜久委員長 よろしくお願いいたします。それは、改めて3常任委員長にお願いをしていきたいと思えます。では、マニュアルはよろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)では、マニュアルはこのようにさせてもらいます。議会カフェのアンケートです。前回修正した形でそれぞれ「大変満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の理由を書いてほしいという形で記載しています。このような形で実施していきたいと思えます。アンケート用紙はこの形で進めさせてもらってよろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)それでは、議会カフェのアンケートは以上になりまして、4のその他になります。当日の資料の関係で議案審議の結果の資料は、私が作成させていただいて当日に配らせていただきたいと思います。よろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)その他、よろしいですか。

宮本政志委員 皆さんがどう思うかなんですが、今、非常にインフルエンザとか新型コロナウイルスとか、あとマイコプラズマとかが物すごく増えていますよね。確かに新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変わっているけど、議会報告会に来られる方っていうのは結構年配の方で、ほとんどがマスクをしていらっしゃったりっていうのがあるんで、例えば、議員がマスクをつけることをなるべく心がける、あるいは、換気の問題とか消毒の問題とかっていうのを協議しなくていいのかなあと思えます。そのままいいのかなあと思って。何かしておかないと今これだけ全国的に、インフルエンザの警報も出ているくらいでしょう。薬も足りないという状況で集団感染なんか起こすと市民の方々に迷惑かけるので、その辺りっていうのは、協議したほうがいいかなと思うんだけど、それについてどう思われますか。。

森山喜久委員長 今、言われましたようにインフルエンザ、新型コロナウイルス等で以前のように換気とか消毒、マスクの着用をどうしたらいいかという御意見がありました。皆さんから御意見があれば頂きたいと思いません。

中島好人委員 こちらで準備する点は、できるだけ準備をしていく必要があるんじゃないかと思います。例えば、マスクを忘れた方には、「マスクはありますよ」など、もちろん、アルコールも準備しておったほうがいいかなと思います。

森山喜久委員長 消毒、マスクの準備が必要ではないかということです。他の皆さんも同様ということよろしいですか。

奥良秀委員 今の御時世は、「マスクをつけてください」というのはお願いしにくいかなあ。あとは今インフルエンザ等々がはやってるんですけど、飲食とかお祭りとかは、コロナ禍のときに比べれば活発にされているので、準備だけはして、つけたい人にはつけてもらえる環境をつくると。あとは手指消毒は置いていないと思うので、手指消毒の除菌のものは置く。あとは「議員にマスクをつけろ」と強制できるのか、お願いできるかは判断できません。その辺はどうなんでしょうか。

宮本政志委員 マスクと消毒との二つですね。消毒液を用意することと、議員とその会場におられる方にマスクをつけてもらおうという論点は二つです。まず一つ目として、手の消毒液は事務局にあるか。マスクも用意すると言ったら、予算からマスクを買わないといけません。マスクと消毒液の用意は可能ですか。

河口議会事務局参事 マスクにつきましては、今から確認をします。必要な方に対してであれば、可能なことも考えられますので、事務局で確認をさせていただいて、対応できることはしていきたいと思えます。アルコー

ル消毒については、使用期限の問題もあるかもしれません。どこかにはあると思いますが、その辺も確認させていただいて、可能な限り対応していきたいと思います。

宮本政志委員 今、事務局が調べてくれています。先ほど、中島委員が言われたように、どちらかよね。例えば、来られた市民の方に1枚ずつマスクを配るのか。あるいは、市民の方も自己判断でマスクを持ってきてされる方もおられるし、マスクしないという方もおられるからわざわざ来られた方に配ることはしなくていいんじゃないかということのどっちかよね。それから、議員はどうするかということ。だから、その辺りを進めてもらったほうがいいよね。もし、この委員会で「いやいや、来られた市民の方全員に配ろうじゃないか」と決まれば、事務局が調べてくれているから、マスク対応をどうするかっていうところに入っていけると思っています。決めないといけないよね。

森山喜久委員長 準備するものとして、消毒の関係については確認してもらっていますが、マスクについてはどのようにするかは御意見はいかがでしょう。

宮本政志委員 別に、市民の方にマスクを1枚ずつ配る必要はないと思う。市民の方は、必要と思われたら持ってきて着用されるでしょうし、必要ないと思われる方にわざわざお渡ししてもと思います。忘れた方は、自己対応してもらえばいいと思いますから、全員にマスクを配ることはしなくていいと思います。

森山喜久委員長 マスクについては、自己判断でいいんじゃないかということの意見です。

奥良秀委員 私も同じなんですけど、つけたい人がつければいいと思います

森山喜久委員長 マスクについては、配る必要はないという御意見がありますが、よろしいですか。その辺で御意見を頂きたいです。

前田浩司副委員長 私も本人の判断でいいと思います。必要と言われればお渡ししますが、強制的にこちらから手渡しをする必要性はないと思います。

宮本政志委員 副委員長は、マスクが要るという人に渡すということは準備しておくということですね。

前田浩司副委員長 そういうことになります。

中島好人委員 私が言ったのは準備しておくだけの話で、忘れたという人には渡して、ああは言っても5類だから強制というのは難しいのではないかなと思う。しかし、はやっているのは事実だから、できるだけ御協力をお願いしたいということは言いながら、忘れた方には「マスクはありますよ」と言うと。僕はこれでいいんじゃないかなと思ってます。

藤岡修美委員 市の対応を聞いて、準備するまではないのかなと思う。市民の皆さんの判断でいいのかなと思う。ただ、議員については、マスクをできればしたほうがいいかなと思う。

森山喜久委員長 準備する必要はなしということでもいいですよ。今は3と2になりまして、私のほうも準備する必要はないと判断しておりますので、マスクについては準備しないということでもよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）一般市民の方については、準備する必要はなしという形にさせていただきますが、議員のマスク着用についてはどういうふうにしたらよろしいか。御意見を頂きたいと思います。マスクの件を先に片づけます。

中島好人委員 市民にもある意味ではお願いするという形で、そのような姿を見せるということが大事じゃないかなと思う。議員の場合はつけて見本を示すじゃないけど、言葉じゃなくて態度で示してマスクをつけておく。「私もつけようかな」と思うように誘導する役割もあるんじゃないかと思う。つけるという方向がいいんじゃないかと思う。

奥良秀委員 参加者の方にマスクをつけてもらうお願いはされるんですか。確認です。

森山喜久委員長 参加者の方々にこちらから配ることはしないということで、自己判断という形でアナウンスまでは先ほど決めてなかったですけど。

前田浩司副委員長 議員はやはり全員マスクをつけるということを求めて、先ほどの一般市民の方については、もし、忘れてマスクがあればということであればマスクを渡すということでの準備というふうに認識しております。

森山喜久委員長 準備はしないと先ほど決めました。今は議員が着用するかどうかです。

前田浩司副委員長 強制でいいと思います。

森山喜久委員長 ほかの方の御意見はいかがですか。

藤岡修美委員 先ほども言いましたが、議員はマスクを着用する方向でいったらいいと思う。

奥良秀委員 私は、議員も自己判断で、自分の体調は自分がよく分かっているのではないかと思うところもありますし、強制ができるのかどうかも分からないので、自己判断でつけたい人はつけばいいと思う。

宮本政志委員 奥委員と一緒に、冒頭に言ったのは、今これだけインフルエンザなどの感染症が物すごくはやっているから、それを委員会で協議が必要と思って言わせてもらった。奥委員と一緒に、議員に強制的にマスクを着用させることまではせずに、議員は議員で各自の判断と。ただ、仮に議員がマスクを忘れていて、市民のいるテーブルについてた中で、咳をする場合はマスク以前の問題で帰ってもらえばいい話です。市民の方は帰ってもらうわけにはいかないけど、議員は帰らせればいい。うつしてはいけないので。そういったところっていうのはあくまでも周りもサポートできるし、議員の判断です。だから私も奥委員と一緒に、着用の義務まではしなくても、あとは議員の判断だと思う。これでいいんじゃないかなと思う。

森山喜久委員長 意見が分かれていますね。市民と同じですけど、私も自己判断でいいのかなと思っています。意見が3対3になりました。こちらについては委員長判断ということで、「自己判断」ということでいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、そういう形を取らせてもらいます。では、消毒液の関係ですが、こちらを準備するかどうかということです。事務局からお願いします。

河口議会事務局参事 今、実際に玄関前などに置いてあるのかを確認しています。そういうものがあれば、持っていこうと思います。なければ、持って行けません、使用期限を確認しながら、可能であれば一つ持って行きたいと思います。

宮本政志委員 消毒液は要と思う。やっぱり、会場を使わせてもらって、議員も市民の方もいろんな方がテーブル、椅子、鉛筆などいろんなものをさわって、使用させてもらう。そうすると使用させてもらった側としたら、最後にそういったものをきれいにしてお返しするという意味でも、消毒液っていうのは入り口に設置して、来られた方も消毒ぐらいすると。その消毒液を買う予算もないということはないと思う。その辺りは、な

ければ購入してもらって、会場に準備することが必要と思う。

森山喜久委員長 今、必要という意見がありましたが、ほかの方の御意見はどうでしょうか。

奥良秀委員 消毒液を準備してもらおうようにお願いしたいと思います。

前田浩司副委員長 準備するでいいと思います。

森山喜久委員長 では、過半数を超えていて、私も必要と思っておりますので、こちらの消毒液につきまして準備をするということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、マスクの関係、消毒液の関係は以上とします。換気は必要に応じて取らせてもらいたいと思います。喚起は気にしていきたいと思っております。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、付議事項1番よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、付議事項2番になります。団体に対する議会カフェの状況についてとなります。現状を言いますと、2団体に対して3月議会の開催前の2月19日までに議会カフェを開催できないかと投げかけをさせていただいているという状況になります。一つは「山陽小野田市子ども会育成連絡協議会」、もう一つは「すげえちゃ高泊」です。山陽小野田市子ども会育成連絡協議会には、子育ての関係をテーマとして話ができないかということと、すげえちゃ高泊には、中学生の部活の地域移行の関係をテーマとしてできないかということを投げかけさせてもらっています。

宮本政志委員 「話を持ちかけてます」で、今日の時点ではどういう雰囲気なんでしょうか。

森山喜久委員長 それぞれの役員と話をするという回答を頂いてる状況なので、今週の半ばぐらいにその状況は把握できると思っております。

宮本政志委員 どちらか一つ、もしくは二つとも駄目な場合はどうするんですか。

森山喜久委員長 この2団体が駄目だった場合、どのようにするかということですが、皆様から御意見を頂けたらと思います。2団体以前にも山陽小野田市PTA連合会とかスマイルキッズの関係の団体に話をさせてもらったんですが、日程が合わない等でお断りをされた状況の中で、この2団体の返答待ちとなっています。

奥良秀委員 この2団体は、いつ頃までに御返答を頂ける予定になってるんですか。

森山喜久委員長 遅くとも今週の水曜日、木曜日あたりぐらいには。役員と話をするとということになりますので、そちらを受けてと。ただ、日付は2月19日までをお願いしたいと伝えています。

奥良秀委員 山陽小野田市PTA連合会とかに断られたってということなんですけど、この二つ以外にお声掛けされてるところはあるんですか。

森山喜久委員長 現在は、この2団体のみです。声をかけたほかのところはお断りをされたということになります。暫時休憩します。

午前10時36分 休憩

午後1時17分 再開

森山喜久委員長 暫時休憩を解きまして、再開いたします。付議事項2番の団体に対する議会カフェの状況についてになります。今、団体の日程は、2月4日、5日で調整が進んでるという状況になっております。それに合わせた状況の中で、2月3日の議会カフェから4日、5日に団体の議

会カフェという流れで進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。
(「はい」と呼ぶ者あり)団体につきましては、今、日程の調整もしているのですが、前回やったところで、テーマを絞ったほうが話しやすいんじゃないかという反省点、気づきもありました。このたびはどのような形で進めましょうか。何か御意見はありますか。

藤岡修美委員 今までどおりの議会カフェでは、議会からテーマというか報告という形で投げかけて、それに対する意見を頂いた後に自由討議という形で、こられた方から出た意見を話し合うという形でやってきている。そういったやり方もあると思うんですけども、団体によってはお持ちのテーマがあるでしょうから、それをあらかじめ聞くなり、こちらから投げかけたりしてやるというやり方もあると考えております。

森山喜久委員 テーマを絞ってやっていく形が望ましいんじゃないかという御意見だったと思います。他の皆さん、どうでしょうか。

宮本政志委員 テーマを絞るっていうのは、こちらが絞るっていうことではない。これは議会カフェ方式でしょ。まず、Aスクエアや不二輸送機ホールと同じようにユーチューブ動画を見てもらって、議案の議会報告をするわけでしょう。残った時間で意見交換をするんですよ。その団体にはそれぞれ特性があるから、団体のほうから、例えば、議会との意見交換で、議会に対する要望とか御意見とかが何かあるのかを聞いて、ぜひこういったことを議員と意見交換をしたいということがあったら、それを無視するわけにはないから、それを向こうにも聞く。こちらも、その団体に対してこういうテーマで、こういうことをこの意見交換会で聞いてみたいってことを踏まえて準備しておく。その両建てでいいと思う。

森山喜久委員長 団体から議会へテーマについての要望等あるかどうかを聞いていくことと、議会としても団体に対して聞きたいことをまとめていくという御意見がありましたが、そういう方向性でよろしいですか。

中島好人委員　こちらがあまりテーマを絞らないほうがいいと思っています。

だから、参加者はそれぞれどういう思いで参加してきているのか、皆違う点があるわけだから、事前に言っておけば別ですけど、それで参加してくれるわけだから、何か皆さんに問いかけながら、向こうの参加した人が関心を持つことに応えていくっていうスタンスがいいかなと思ってる。だから、あまりこのテーマだと言って絞らないほうがいいかなと思っ
ています。けども、こちらとしても団体によってはこういうことが気になるから、どうなのかという腹案みたいなものは持っていたほうがいい。けど、主体はこちらじゃなくて、参加団体から議会に対してなので、こちらが参加団体のテーマを決めるというのは、二の次、三の次ではないかな。やっぱり向こうの要望を聞くっていうのが中心じゃないかなと思う。だから、宮本委員が言ったのと同じかなと思ってます。一応何か発言しておかないと、簡単に過ぎてはいけないと思った。

森山喜久委員長　では、対象団体の代表者、その事務局とでその辺のことを連絡を取ながら、団体として議会に聞きたいことは何なのかということ聞き取りをしながら、皆さんにお示しすると形を取らせていただきたい
と思います。よろしいですか。

宮本政志委員　それでいいんだけど、場所はどこでやるのか。相手方がこちらに来てくださってという可能性もあるわけか。それともこちらに来てもらうということか。その調整は、今からなのか。

森山喜久委員長　場所も今からの調整です。ただ、それぞれの地域もありますので、それぞれの地域に行くような形になりますが、場所が取れるかどうかということがありますので。日程が決まって、対象団体の近い場所がとれるかどうかというのがあります。その他、各団体の関係で、皆さんから御意見など確認したいことはありますか。

宮本政志委員　2団体ですよ。今から2団体の参加人数も出てくるよね。何

人ぐらい御出席してもらえるか。それに対する対応する議員の派遣等については、どういうふうになるのか。議長を除く、全議員の基本的な議会報告会は参加しているけど。この団体の二つに対してはどういうふうになるのかな。これは、議論したほうがいいんじゃないか。

森山喜久委員長 2月3日につきましては全議員が対象となって議員派遣となりますが、4日、5日については相手方の人数にもよります。全議員は必要ないと思っています。なので、広聴特別委員会のメンバーと3常任委員長を4日、5日については議員派遣をする方向性になると思っています。

宮本政志委員 日にちだけを言われたけど、3日だけでは分かりにくい。3日は、不二輸送機ホールとAスクエアで、全議員で対応ということですね。それで、あとの二つの団体に関しては3常任委員長と広聴特別委員ということは、広聴特別委員会には藤岡産業建設常任委員長と奥民生福祉常任委員長がいらっしゃるんで、この広聴特別委員会に、伊場総務文教常任委員長が加わって対応していくことですか。

森山喜久委員長 言われたとおりに計算したら8人になるかと思います。

宮本政志委員 そもそも議会報告会は、今までは公務として全議員が議員派遣されて対応してます。団体に関しては広聴特別委員会に伊場委員長が加わって対応ということになりますが、それは整合性が取れるのか。

森山喜久委員長 この議会カフェに関しては、2月3日のAスクエア、不二輸送機ホールには全議員が派遣される。4日、5日の団体については、一部の人がピックアップされることになりますが、それで問題はないと認識しています。事務局のほうで補足はありますか。

中村議会事務局次長 要綱を見る限り、今の実際の運営とは合っていないところもあるんですけども、「班編成として、議長を除く議員がいずれか

の班に属するものとします」という書きぶりであることと、今予定されているとおり2月3日は既に議長を除く全議員の派遣を取っているところから、議会報告会にはいずれの班にも属するっていうもので、これがクリアできていると思います。なので、今、団体との日にちの交渉によって、そこに行く議員が必ず既に入っていますので、まずそこはクリアできていると思います。ただ、この派遣に当たっては、目的と内容と期間をきちんと定める必要があります。3日は大丈夫なんですけど、4日と5日については、まだそこが定まってないということになりますので、そこについては一旦委員会において委員長に一任して、調整後、議員派遣は最終的に議長がするもので、委員派遣とは違いますので、途中までのことを委員長に一任する議決を委員会の中で取っておいて、最後に正式に委員長から議長に依頼されれば、4日と5日に行かれる議員の決定はそこで行い、内々にはここで行っておけば大丈夫かと思います。

宮本政志委員 今の中村局次長の説明からすると、広聴特別委員のメンバープラス伊場総務文教常任委員長だけじゃなくて、急遽、相手の人数によっては参加する議員を増やすために他の議員にも声をかけて、来てもらうということも可能ということか。（「はい」と呼ぶ者あり）

中村議会事務局次長 そこまでを今、委員会の中で決めて、行かれる議員が駄目だと言うことはないでしょうけど、そこはきちんと委員会の場じゃないところでも、お願いすることがあることをきちんと議員派遣を取っておけば、この時点でこの議員で行きましょうというのを委員会中で決めて、詳細については委員長に一任にしておけば可能と思います。

森山喜久委員長 では、4日、5日については、詳細の関係が決まり次第で派遣となりますが、このことについては委員長に一任という形を取らせていただきたいと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）
今、言いました2団体については、午前中は、名称を間違えたのもありますけれど、山陽小野田市子供会育成連絡協議会とスポカルクラブSG

Cの2団体と、2月4日、5日の夕方で日程調整中です。参加人数と日程が決まり次第、私から議長に対して議員派遣の要請をしていきたいと思っておりますので、一任していただけたらと思っております。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、付議事項2の団体に対する議会活動の状況については終わります。では、付議事項3になります。令和5年12月定例会と令和6年3月定例会議会カフェ後日回答分の確認についてということで、お示しをさせていただいております。各常任委員会で確認していただいた内容です。この内容で送りたいと思っておりますが、皆さんのほうで御意見等がありますか。まず、令和5年12月定例会議会カフェ後日回答分についてになりますか、よろしいですか。12月の分は3ページにわたっています。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、令和5年12月定例会についてはこちらを後日回答分とします。令和6年3月定例会の議会カフェ後日回答分について、これは1ページになりますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、令和6年3月定例会の議会カフェの後日回答分ということで送らせてもらいます。それでは、付議事項3については以上で終了いたします。付議事項4、令和6年3月定例会議会のモニター意見の対応の確認についてになりますが、こちらについてはモニターからの意見の上段、「ユーチューブを使いたいという気持ちはあるけど」というところについて、今、広報特別委員会からも意見を頂いた中で、担当委員会として、「市や地域交流センターなどで開催される講座を利用いただきたい。また、議会の広報としても市民がアクセスしやすい環境をつくっていく。議会だよりで記事を設ける。アプリの説明、やり方を注意事項も踏まえて載せる。」という回答が上がってきております。広報特別委員会と広聴特別委員会の両方で作成したらという話もあったのですが、広報特別委員会の回答で十分ではないかと思っております。皆さんから御意見があれば加筆したいと思っておりますが、どうでしょうか。

宮本政志委員 これは令和5年12月の議会カフェの回答を扱っているよね。

今回、これが令和6年4月ですよ。これがいいのかなと思うのが、令

和6年4月25日と26日の意見交換のとき、この意見に対して「議会の広報としても市民がアクセスしやすい環境をつくっていく」ですよね。それから下は、「アプリの説明、やり方を注意事項も踏まえて載せる」というのが、令和6年4月25日、26日の意見交換で、月数がかかなりたっている。これからすぐにこういったきちんとした回答が出ていたらいいんだけど、これはアクセスしやすい環境になっているのか。「アプリの説明、やり方を注意事項も踏まえて載せる」とあるが、この時点で載せているのかということはいいか。つまり、これだけ長く回答が遅れていて、現状とこの回答の整合性は取れているのかということもあるんです。それでいいのか。つまり、遅いということです。我々広聴特別委員会の反省点として、先ほど議論していたのは令和5年12月の分で一年以上過ぎましたよね。これは令和6年4月分ですよね。今は令和7年1月の終わりですよ。どうなんですか。「市民がアクセスしやすい環境をつくっている」のか。今、これはどうなっているのか。

森山喜久委員長 今、QRコードを議会だよりの最後のページにも載せているので、以前よりはQRコードを読み込んでアクセスするような形はしやすくなっているとは思いますが、また、これらのアプリの説明とかやり方とかの注意事項についても、広報特別委員会としてこういう形で書かれてるんですが、これを広聴特別委員会として意見反映してやるべきことがあれば、それも加筆して示していけたらと思ってます。広報特別委員会で作成していただいたのは、1番です。これについては、当時は広報特別委員会と広聴特別委員会の両方に関連するのではないかという話もありました。ただ、この広報特別委員会から出てきた意見をそのままの回答とするのか、広聴特別委員会としてこういうのができるんじゃないかという御意見があれば、加筆することになるのかなと思います。ただ、今の状況で言えば、この回答になるかと私は思ってます。その辺で皆さんから意見等を頂けたらと思いますが、どうでしょうか。

宮本政志委員 令和6年4月25日、26日で御意見を頂いた。これに対して

今、「市民がアクセスしやすい環境をつくっていきます。」とか、「議会だより記事を設けていきます。」、「アプリの説明、やり方を注意事項も踏まえて載せる」という回答ができたわけですね。そうすると、この回答を今から返すわけでしょう。だから、これからこういったことに広報特別委員会は取り組んでいくという前提でしょう。これは、昨年4月25日、26日に意見を頂いたんだけど、このことはモニターから御意見が出てますよっていうことを広報特別委員会には伝えて、その下で今進んでいるところは別にないですよっていう意味で聞いたかったです。

森山喜久委員長 現在のところでこの回答を頂いてるので。意見がないようですので、この回答で進める形でいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）こちらについては、4月25日、26日開催の意見交換会で聴取した意見に対する対応案については、このとおりでよろしいでしょうか。（「今は全部のことを良しというのか」と呼ぶ者あり）以前に、ここの2、3、4番目については確認をしてきています。今、1番目が以前の会議で抜けておりましたので、今、この1番を含めて全部よろしいかという意味で提案しました。

宮本政志委員 この内容についてですよ。対応の案について付議事項として議論してる。何回も言うけど、これは去年の4月25日、26日に実施したもので、モニターさんの立場からしたら意見を言って、ずっと放置されて何にも意見を返されてないってことは広聴特別委員会の対応の仕方も悪い。それから、モニターがどういった意見を言っているかという聞き方にも問題がある。何でもかんでもモニターの意見をここに吸い上げて振り分ければいいのかという問題じゃないと思う。だから、いろんな問題点を解決していかないとここで議論するべきじゃないかもしれないけど、先ほどみたいに令和5年12月の話をしたり、去年の4月25日、26日の意見を今やっとなら回答の案がこうだってことを議論するって、この間もモニターとの意見交換会しとるわけだから、だから、モニター

との意見交換会そのものの進め方っていうのを1回は議論したほうがいいと思う。この対応案についての付議事項なので少し脱線しているけど、内容が結局こうなる。モニターはこのことを4月25日、26日に言っておられる。今からこうしますと。広報特別委員会の答えで。

森山喜久委員長 ほかの方はよろしいですか。では、これで確認が取れたということで返していきたいと思います。付議事項5の令和6年9月定例会のモニター意見の対応についてになります。議会傍聴された中学生のアンケートと意見交換会の内容で取り上げたらいんじゃないかというモニターからの意見がありました。それを受けまして、7月2日の議会傍聴した中学生との意見交換会で、聴取した意見の割り振り案と次のページの要望事項を列挙しています。変則的にはなりますがこれについて御意見を頂きたいと思います。こちらについての御意見はどうでしょうか。

奥良秀委員 この意見で担当委員会が割り振られてるんですけど、その意見の根底に何があるのかをもう少し深掘りをしてもらわないとよく分からないんです。だから、最初に「子育てに力を入れたら、戻ってきたり移住したりする人も増えていくのではないか」と書いてあって、総務文教常任委員会と民生福祉常任委員会と書いてあるんですけど、何がどうなのか、その場になかったので分からないんです。

宮本政志委員 奥委員が言われたことは重要ではないか。生徒との意見交換会は終わったからしょうがない。この意見交換会を担当したのはどこですか。

森山喜久委員長 これは広報特別委員会です。

宮本政志委員 この担当者がずさんなんよ。奥委員が言うとおりの。例えば、「子育てに力を入れたら」とはどういうことかなと深掘りをして、「なるほ

どね」ということになればいいが、これをさらっと行ったのは、広報特別委員会が駄目よね。意見交換の仕方が悪い。終わっているんだから仕方ない。そうすると、今度は総務文教常任委員会も民生福祉常任委員会も振られたときに、詳しくは会議録も出てない中でそれを前提に委員会でこれをもとに所管で深掘りしていくしかないよね。今後こういったことをするのだったら、議会報告会の進行役にしたって、モニターとの意見交換の進行役にしたって、今回のことにしたって、我々の議員の力量が低いということ。ぱっと聞いてさっと終わるということをしっかり広報特別委員会と打ち合せてほしい。それと、これを振るのはいいけど、これは7月2日に開催したものよね。10月にモニターから指摘を受けて、これがまたずるずると行ってはいけない。これはいつぐらいまでにそれぞれの担当委員から答えをもらうのか。こんなことをしていたら今年の8月、9月になるのではないか。

森山喜久委員長 期限を区切らないと、言われたようにずるずるというような形になりますので、本会議は2月20日から始まりますが、それまでにしてもらうか、一週遅らせるかということになってくるのかなと思います。ただ、各委員会も委員会開催が、個別にできるかといえば……

宮本政志委員 モニターの任期は、今年の6月末まででしたよね。3月定例会が終わったら、年度が明けますよね。それもあし、もしかするとこの中の中学生からもらった意見が所管の委員会で3月定例会の予算のときの議案審査にも生きてくる可能性はあるよね。そうすると、今日この件を広聴特別委員会がやったから、3月定例会まで間がないじゃないのっていうのは、この委員会の責任です。もっと早くやっておけばよかった。早く各常任委員会に振ればよかったっていう話よね。だから、そこを踏まえた上で早々にやっていくべきと思う。厳しいかな。

森山喜久委員長 振り分けて示して2週間とかそんな感じのスパンという意味合いですか。

奥良秀委員 今回こういうことが案として出ているんですけど、例えば民生福祉常任委員会であれば、一行目のところに書いてある中で、この3月の定例会の予算審査が始まる前に、広聴特別委員会から民生福祉常任委員会に「こういうことをやってください」ということを言っていたいて、民生福祉常任委員会を開くかどうかは別として、担当委員に対しては、傍聴した中学生からこのような意見が出てきてますのでこれも頭に入れて、質疑、審査をしてくださいってというようなことは伝えられるのかなと思います。

森山喜久委員長 産業建設常任委員会のほうからは何かありますか。

藤岡修美委員 このテーマで所管事務調査という形になるのか。ただ、生徒の素朴な意見なので、なかなか踏み込んだ議論ができるかどうか分からないんですけども、モニターからは議員で話をしてくれということなんで、広聴特別委員会からあれば一応はこういう中学生からの意見があるという形での議論というか、委員会でやっていく方向で考えたいと思います。

森山喜久委員長 広聴特別委員会から話をせざるを得ないんです。報告締切りを明確にしていなかったというのもあります。

宮本政志委員 モニターの意見は2行目ですよ。 「中学生との意見交換内容の取りまとめ」はしました。「これを全議員で話をしていないようだが」って、ここは「全議員で議論をしてないようだが」と受け取れるですよ。 「議論をしてほしい」よね。つまり「いい意見が出たではないか」、モニターとの意見交換のときに出席していたから「これを全議員で議論したのか。していないのなら議論してほしいんだけど」と受けとった。そうすると、これはさっきの話だけど、担当した広報特別委員会が詳細に聞いてないから、なかなかこういう抽象的なことしか表現できないんだけど、そもそもは、「中学生からこういう意見が出てますよ。それぞれの議員が3月定例会の予算審査のときに生かしてください」で、いい

のかという話なのよ。答えが出るか、出ないかは、委員会を開いてみて、委員全員が「これじゃあ答えは出しようがありません」と議決したら、「そうですね」と、その委員会ならいいけど、こちらが「答えが出せようがないでしょ」と決めつけていくわけにいかない。だから、これは所管の委員会にいつかというのは状況によるけど、早く伝えて受けた委員会の委員長が中学生からこういう意見が出てると委員を集めて、こういう意見が出てくる皆さんどうかっていうことをやるか、やらんかよね。重きを置くか、置かないかよね。だから、これは早めに振ると。今日、委員会で議決を取れば案がなくなるわけでしょう。それから、今度は3常任委員長が判断すればいいんじゃない。これが来たけど5月、6月までずるずるとなったら、それは委員長の判断でないかと思う。でも、これは早くやってくれと広聴特別委員長が言うべきだと思うよ。

森山喜久委員長　こちらについては、議決が取れたら私から各常任委員長に進言していきたいと思います。この割り振り案、そして意見交換で聴取した意見案について、皆さんからほかに御意見ありますか。

奥良秀委員　担当委員長として発言させてもらいます。この文書が来た場合に、審議をする前に、例えば、広報特別委員会に出られた委員長、委員に対して、これはどういう意味なのかということ聞き直すことはいいんでしょうか。じゃないとニュアンスがきちんと伝わってこないとどのよう委員会を進めていったらいいか分かりませんので、そういうところをやってもいいんですか。

森山喜久委員長　当然、民生福祉常任委員会の中にも広報特別委員会の委員がいて、その確認はできるのではないかと思います。

宮本政志委員　事務局、これの記録みたいなものは取っているんか。中学生との意見交換ときのもの取っているのか。（「要点筆記のようなものは取っています」と呼ぶ者あり）要点筆記だけ。要点筆記ができとるんならそ

の要点筆記を基にできるんじゃないのか。担当課を呼んだのはいいけど、その内容と広報特別委員会の担当者がいう内容が違っていたら、全く整合性が取れなくなるようになるよ。だからそのときの記録が要点筆記であるなら、それを基に委員会をやればいいんじゃない。

森山喜久委員長 要点筆記ということですね。それを基にして進めたらいいのではないかという意見でした。ここで、暫時休憩します。

午後 2 時 5 分 休憩

午後 2 時 2 2 分 開会

森山喜久委員長 では、休憩を解きまして再開いたします。9月定例議会のモニター意見の対応についてということで、モニターからの意見を頂いた分から、議会傍聴した中学生との意見交換会で聴取した意見案という形で示させていただいておりますが、内容を各担当委員会に振る形で対応していただくということで進めていきたいと思いますが、どうでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）そのような形で、各担当委員会に振っていききたいと思います。次に付議事項6番、その他になります。令和6年6月の定例会の意見交換会で徴収したモニターからの意見は、広聴特別委員会で決定をしていたのですが、進達が遅れておりまして、改めて各担当委員会に進達をしていきたいと思っております。こちらはペーパーを用意しませんが、各担当委員会に今のモニターの5番の付議事項の内容と一緒に進達をしていきますのでよろしくお願いしたいと思います。それ以外、6、その他、皆さんから何かありますか。（「ありません」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして広聴特別委員会を終わります。

午後 2 時 2 4 分 散会

令和7年（2025年）1月27日

広聴特別委員長 森 山 喜 久